
すばる文学賞物語2011冬?

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すばる文学賞物語2011冬?

【著者名】

「ほんライス

【あらすじ】

すばる文学賞投稿用ひつぶ、63枚までトレス。ひとまず、100枚を目指す。

(前書き)

前書きせ風の中に。

すばる文学賞の〆切まであと二ヶ月である。原稿はすでにネットで完成してゐる。あとは原稿用紙にトレーsするだけ。今んとこ、63枚。ノーカットで570枚であるが、すばるは300枚が上限ゆえに、200枚のダイジェスト版。

豆川惨一は、双葉公園のテントの中でひたすらボールペンを走らせる。

疲れてきたのでサイトを開く。華子が新作短編を掲載していた。

一読し、真面目な話をするべ、リアリティーが足りないと。話が荒唐無稽過ぎて入り込めない。

しかし、ギャグは相変わらず冴えている。この辺り、リアリティーのなさがいい具合に作用している。

華子の枚数ならオール読物かなあという気がするが、華子は趣味で書いてるゆえ、投稿はしないだろうなあ。

惨一は寝転ぶ。

ふと思い立ち、うつ伏せになり、小林よしのりの「パール真論」を読み始める。よしりんは、やはり天才だ。エネルギーが桁違いだ。燃料が切れたら惨一はよくよしりんの著作を読んで魂を奮い立たせる。

惨一はせつまえたねこをさばいて鍋にぶつ込む。

「すばるちゃん。すばるちゃん」

テントの外ではおばはんがこの世にいない飼い猫を探していた。

風がびゅうびゅう吹いていた。すばる文学賞の〆切まであと二ヶ月。

夜兎は元気だろうか。身体を壊してないか。

(後書き)

後書きはあなたの心の中に入ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5083q/>

すばる文学賞物語2011冬?

2011年3月14日13時00分発行